

令和3年 第12回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和3年 第12回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和3年12月24日 13:40～15:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 【教育長・教育委員】
西田教育長、今門代表教育委員、畠山委員、片山委員、小林委員
【事務局】
迫田教育局長
(企画総務課) 川邊課長、井上補佐、川崎室長、吉瀬主幹、
三角主任主事、河野主事
(学校施設課) 河野課長、年増補佐
(学校教育課) 牧野課長、田中補佐、永峰補佐
(教育情報研修センター) 堀之内所長、岩崎次長
(生涯学習課) 中野課長、鳥枝補佐
(保健給食課) 松崎補佐
(文化財課) 白坂課長、久保補佐

5 報 告

番号	件名	説明者
報告第44号	令和3年第8回宮崎市議会定例会(12月)の報告について	教育局長
報告第45号	令和3年度第3回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について	学校教育課長
報告第46号	事故等の報告について	学校教育課長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第12回教育委員会定例会を開催します。</p> <p>本日の傍聴者は、ありません。</p> <p>それでは、会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、片山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。</p> <p>「(1) 教育長報告」については記載のとおりですが、12月23日に開催された「令和3年度市町村教育委員会オンライン第3回協議会」について、報告します。</p> <p>私は、「教育の情報化について」、「学校における働き方改革について」の二つの分科会に参加しました。</p> <p>まず、「教育の情報化について」の分科会で話題になったことをご紹介します。一番は、ICT活用の格差ができていくということ、教職員の指導力による差をどのようにして埋めていくかということは問題点として挙がりました。分科会のメンバーは、大体人口30万人から40万人程度の市町村の教育長でしたが、ほとんどの市町村で同じ課題を抱えていました。</p> <p>また、保護者への指導についての課題も挙がりました。タブレットの持ち帰りを始めたが、保護者から不安の声が多く寄せられたという状況が、どの市町村も共通してあります。それをどう解決するかという話では、他市町村でも「デジタルシティズンシップ」の考え方、これをしっかりやらないといけないのではないかという意見がありました。</p> <p>ほかにも、5年後のタブレット端末更新の費用面での課題が挙がり、誰が最終的にこの負担をするのかということで、国にもしっかり考えて欲しいという意見が多数を占めました。</p> <p>そのような中で、教育活動として授業の改革をしていくという、未来の教室のような形の考え方は、宮崎市ならではの取組となると感じました。あとは、日頃の授業での活用の部分では、市町村で格差はあるのかなという気がします。</p> <p>次に、二つ目の「学校における働き方改革について」の分科会で一番話題になったのは、部活動のことでした。文部科学省は令和5年度から、段階的に休日の部活動の地域移行をとることを言っています。ただ、現状として、地域にその受け皿が不足しているため、体育協会や、総合型スポーツクラブなどの力を借りないといけないが、国や、都道府県を通して、しっかり言っていただいた上で市町村に依頼して欲しいという意見が出ました。</p> <p>あと、やはり教員の意識改革も大切だという意見が出ました。また、教員採用の倍率は特に小学校が下がっていることが共通の課題で、資質向上という部分や、採用の工夫をしなければ学校はいよいよ厳しくなってくるのではないかなというようなご意見が出たところです。</p> <p>そのほかには、保護者等のクレーム対応が非常に増えてきて、精神的な負担が増えているが、スクールロイヤーや、スクールソーシャルワーカーの活躍が非常にありがたいということでした。ただ、予算上、配置の増加は難しいので、その課題をどう対応するかと</p>

	<p>いうお話でした。</p> <p>このように他県の市町村の状況を聞けることは、大変ありがたく、令和3年9月に畠山委員も参加されたのですが、今後、令和4年2月には、3名の教育委員の方々の参加が予定されているのでぜひよろしくをお願いします。</p> <p>続きまして、「(2) 委員報告」については、記載のとおりですが、11月18日に開催された「地域・家庭・学校と教育委員会との意見交換会」について、教育委員の皆様からご感想をお伺いしたいと思います。</p>
畠山教育委員	<p>今年度もいろいろな行事が延期や、中止になったりする中で、無事に開催され、本当にありがたかったなと感じています。</p> <p>GIGAスクール構想の中で、誰一人取り残さないというのが、非常に重要だということを感じました。この「みやぎきつ子」を育む、大樹の根っこの部分の核となる、地域と家庭と学校の代表の皆さんから意見をストレートに出していただいたと思います。タブレット端末の導入によって、これまで意見をなかなか言うことができなかった子ども達の意見や思いを共有することができるというお話もあり、タブレットを一つのツールとして活用することが、これから大きな飛躍のポイントになるのではないかと思います。確かに、使い方のルールが必要であることや、視力の低下、健康面の課題があるということも出ていましたが、それを超える、様々な取組をとにかくやってみて、タブレットを役立てて欲しいなと感じました。</p>
小林教育委員	<p>保護者や地域の不安感や困り感も含めて議論できたということは非常に意味のある意見交換会だったなと思っています。また、各課にきめ細かなご尽力をいただいたので、そのような深い理解を得られたというような効果もあったと思います。</p> <p>今、学校では、社会に開かれた教育課程が非常に重要だと言われてますが、やはり今後は、保護者と目標を共有していく、そこが非常に重要だと思っています。</p> <p>また、岡本会長がおっしゃっていましたが、ノートなどに先生方の手書きのコメントなどがあると、非常に愛情深い思いが伝わってくるということとか、岩崎副会長は、健康面の配慮についてなど本当に多様なご意見を聞かせていただきました。また、私たちはこれから、その目標を共有する中で、保護者といかに対話していくかがすごく大事な視点だと思いました。</p> <p>最後に、先ほど教育長がおっしゃったデジタルシティズンシップの考え方で言えることは、例えば、学校行事の中で、PTAと一緒にタブレット操作をしながら、何かやってみるなど、そういった経験を重ねることで、保護者の理解も徐々に深まっていくのではないかなと思いました。</p>
片山教育委員	<p>GIGAスクール構想の話の中で、タブレット端末などのデジタル機器を授業に取り入れるというのは、個人的には反対だというご意見が出ていたのですが、不登校の子ども達に対して活用ができるということで、そのようないい面もあることも分かったとおっしゃられていました。私も保護者として、タブレット端末を学習ツールとして使うことに、少し不安はあります。犯罪に巻き込まれるのではないかな、大人が知らないところでいろんな悪い情報も入ってくるのではないかなど、悪いイメージばかりをするのではなく、きちん</p>

	<p>と説明することで、ポジティブな可能性がたくさんあるということ、保護者や地域に伝えていくことで、ネガティブなイメージを塗り替えていけるのではないかと感じたところです。</p> <p>また、一年前にこの意見交換会に参加した時は、自分の子どもにはスマホはあまり使わせたくないという考えではありました。しかし、このGIGAスクール構想のことを学ばせていただくなかで、これからのICTの時代において、子ども達にタブレットなどを触らせないということの方が怖いのではないかと思うようになりました。私も少しずつ学ばせていただいているところです。他の保護者の方にも伝えていけたらいいなと思いました。</p> <p>あとは、タブレット端末を使用するうえでのルールづくりについては、ルールを守らせるのではなく、なぜルールを守らないといけないのかの伝え方が重要だと思います。また、健康面の課題や、与えられた情報を使って何ができるのかという、考えていく力を養うように授業の中に盛り込んでいただけると、与えられるだけのタブレットではないということになるのではと思います。</p>
<p>今門代表教育委員</p>	<p>宮崎市におけるタブレット端末の現在の活用状況、タブレット端末を活用した不登校対策についてや、実際にICTを活用している赤江中学校の動画など、非常に内容が豊かでした。また、出席されている地域と家庭と学校の代表の方々は、皆さん発信力のある方なので、そのような方々に、不登校対策においてもタブレットが活用されているのだということを知っていただいたことは、大変よかったですと思っています。</p> <p>最後に、すべての子どもを取り残すことがないようにしていきたいという思いを、参加者全員が納得するような意味のある会だったと思います。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>ご感想ありがとうございました。</p> <p>続いて、11月24日に開催された「令和3年度宮崎県市町村教育委員会連合会第3回理事会」と、「宮崎県市町村教育委員会連合会と県教育委員会との意見交換会」について今門代表教育委員から報告をお願いします。</p>
<p>今門代表教育委員</p>	<p>資料の4ページをご覧ください。</p> <p>当日は2つの会議があり、一つは、「宮崎県市町村教育委員会連合会第3回理事会」、その後、「宮崎県市町村教育委員会連合会と県教育委員会との意見交換会」を行いました。</p> <p>まず、「宮崎市町村教育委員会連合会第3回理事会」では、協議事項が二つありました。一つは、理事会の後の行われる意見交換会についての流れの確認です。二つ目が、令和3年度一般会計補正予算案についてです。コロナ禍で実施できなかった事業がありましたので、負担金の返還を行うための補正予算案について審議されました。</p> <p>次に、「令和4年の教育施策に対する要望に関する意見交換会」が行われました。</p> <p>テーマは、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特別支援教育推進のための条件整備について 2 部活動の適切な運営に向けた環境整備について 3 教育の情報化に対する支援の充実について 4 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う支援について <p>上記の四つのテーマにそって、県教育委員会との意見交換を行い</p>

	<p>ました。</p> <p>特に、「特別支援教育推進のための条件整備について」は、各市町村の理事から意見が数多く出され、活発な協議となりました。改めて特別支援教育のための条件整備について、課題が多いということを実感しました。県教育委員会にも各市町村の状況について、真摯に受け止めていただきました。</p> <p>たくさんの意見が出されて、いい会になったなと思っています</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、12月14日に開催された「令和3年度市町村新任教育委員研修会」について、小林教育委員からご感想をお伺いしたいと思います。</p>
小林教育委員	<p>新任教育委員として参加させていただきました。今回は、椎葉村、日之影町、門川町など、様々なところからオンラインで参加する形式で行われました。オンラインでの研修や会議がこんなにもスムーズにできる環境になったのだと改めて思いました。</p> <p>内容としては、サービスや教育委員会制度についてのご説明をいただきました。私自身、以前教育委員会の仕事をさせていただいた経験もあったのですが、改めて自分自身の学び直しという点で、非常に有意義な時間を過ごさせていただいたと思いました。</p> <p>また、GIGAスクール構想に関する説明もありました。例えば、現在、県立高等学校が行っているBYODについてです。BYODとは、高等学校におけるタブレット端末の整備は、私物のタブレット端末の持ち込みによる授業活用をするという動きです。今後の県立高等学校の動きとして、BYODから移行し、BYADという、学校が指定したタブレット端末を持ってきてもらうという検討も始めているとのことでした。一方で、各市町村の小・中学校のGIGAスクール構想の説明などもあり、私自身感じたのは、宮崎市は他市町村に比べ、一歩先を進んでいるなということです。それを組織的に乗り切っておられる皆さんの姿をイメージしながら、宮崎市はこれから宮崎県を牽引する存在になっていけるのではないかなということを感じながら、研修を受けさせていただきました。以上です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、12月16日に開催された「2020体験型進学就職イベント ゆめパーク」について、片山教育委員からご感想をお伺いします。</p>
片山教育委員	<p>初めて参加させていただいたのですが、率直な感想として、私が子どもの時にもこのような機会があればすごくよかったと思えました。私はあまり夢がない子どもだったので、中学生の時には何になりたいという具体的な将来の夢はありませんでした。だからこそ、この中学生の時期に「このような職業があるんだ」ということと、それが体験できる機会があるのは、子ども達の夢が広がりますし、すごくありがたいと思えました。</p> <p>ゆめパークの前日に、赤江東中学校を学校支援訪問させていただいたのですが、その時に見学した授業が、ゆめパークへ参加にあたっての導入部分でした。内容は、ゆめパークに出店している企業の中から、自分がなりたい職業を選び、その理由をロイロノートを使ってみんなで共有していく授業でした。その時間で、事前に自分の中でイメージももったうえで、当日、働いている人たちとふれ</p>

	<p>あうことで、さらに現実的なイメージがもちやすくなるのかなと思いました。</p> <p>また、参加した後に、なりたい職業以外にも興味が出てくることもあると思うので、子ども達がそれぞれの感想を授業の中で共有することができればもっとよいと思いました。その振り返りの中で、先生から「何にでもなれる」というようなメッセージを生徒に届けられることができたらいいなと思います。</p> <p>なりたいと思ったものを目標にすると、そのために何ができるのか、何が必要なのかということを考える力は子ども達にあると思うので、そうすれば夢を叶えることができるのではないかと思います。</p> <p>このような「何にでもなれる」というメッセージを届けてあげられるのは、AIにはできないことですので、先生方の腕の見せ所かなと感じたところです。</p> <p>また、話は変わりますが、赤江東中学校の学校支援訪問の際に、中学生を対象とした放課後寺子屋事業についての張り紙が気になり、このことを先生にお聞きしました。赤江東中学校の特性として、要保護の支援を受けられている家庭も多く、塾などに行きたくても行けない家庭もあるということで、どのような家庭でも様々な教育が受けられるよう地域で育てていきたいという想いのもと、青少年育成協議会の方と協力して、宮崎情報医療ビジネス専門学校の先生を講師として招き、プログラミングを学ぶ機会を作っていることでした。現在、コミュニティ・スクールが進んでいますし、地域が協力してやっている取組はとてもよいと思いました。ゆめパークに来ていたIT関係の企業も、子ども達が自分の会社に来て欲しいという気持ちで取り組まれていると思うので、赤江東中学校のように、学校とマッチングさせることで、企業としても地域貢献ができますし、学校側もコミュニティ・スクールが発展していく機会にもなるのではないかと思います。</p>
<p>今門代表教育委員</p>	<p>私も、片山委員と同じくゆめパークの前日に、赤江東中学校の学校支援訪問があり、タイミングがとてもよく、中学2年生が職業についてを題材とした学習をしていました。地元の様々な企業を調べて、自分の興味のある職業を深めていこうということで、ゆめパークに向けて、事前にしっかり勉強をして参加することが分かりました。ゆめパーク自体がキャリア教育推進への極めて有益なイベントだと思うのですが、そこに各学校では事前学習まで行っているということで、ゆめパークの狙いは十分達成されているのではないかと思います。</p> <p>たくさんの企業が参加されており、運営も大変だろうと思いますが、一つ気になったことは、畜産業、伝統工芸、県庁や市役所、小・中学校の教員などの公務員系など、もう少し職種を広げるとよいのではないかと思います。</p> <p>それでも、非常にたくさんの職種があり、中でも警察官のブースでは指紋を採取する体験ができるようになっており、とても人気のブースだったので、魅力的に映った子ども達も多いだろうと感じました。</p>
<p>小林教育委員</p>	<p>これまで、中学生の職場体験学習というと、地域の様々な職種の方をお願いをして、子ども達はその中で振り分けられた職場を体験するというような形が多かったのではないのでしょうか。いろいろな</p>

	<p>反省を踏まえながら試行錯誤してそのような形で行ってきたと思いますが、ゆめパークは宮崎市らしい斬新な発想での企画だなと思いました。すごくスケールが大きく、木の花ドームというプロ野球選手がキャンプをする場所を使っていたり、会場への移動はバスの送迎がついていて、子ども達もたくさんいますが、スムーズに運営をされていました。企業の方も本当に熱意をもって取り組まれているのと、子ども達も夢中になっている姿を見ることができました。担当の方々は本当に大変だと思うのですが、大変素晴らしいイベントだと思うので、今後もぜひ続けていただきたいと思いました。</p>
西田教育長	<p>工業政策課だからこそできる大きいスケールのイベントだったと思います。</p> <p>教育委員会としても、企業との連携ということで進めているキャリア教育について学校教育課から説明をお願いします。</p>
牧野学校教育課長	<p>キャリア教育を進めるにあたって、学校と、地域の産業、それから宮崎市内にある様々な企業や、伝統工芸など様々な種類の職業に関わるような団体の方々と、学校とのマッチングをしていく必要があります。</p> <p>今年度、企業や中部教育事務所のキャリア教育の担当者にも入ってもらって、どのようにキャリア教育をコーディネートしていけるのかということ協賛する協議会を立ち上げました。企業側に、学校が今やろうとしているキャリア教育のモデルを示しているところです。</p> <p>例えば、しょうゆ工場であれば、課題を企業から挙げていただいて、うちの商品がもっと売れるにはどうしたらいいかというアイデアを中学生がプレゼンテーションをして返していくということを今、実際やっています。このようなことを多くの学校でもスムーズに行うことができるための、モデル構築や、コーディネートをどうしていくかを協議しています。</p> <p>現在、協議会を2回実施していますが、企業の方々は「ぜひやりたい。何か子ども達に貢献したい。」ということで非常に前向きですので、有意義な会になっています。3回目の協議会を令和4年2月頃に行う予定です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、12月21日に開催された「令和3年度「未来の教室」教育講演会」について、教育委員の皆様からご感想をお伺いしたいと思います。</p>
畠山教育委員	<p>未来の教室を牽引される最先端のパネリストの皆さんの熱いお話を聞くことができ、会場で今門代表と目を合わせて、「すごいね」と言いながら参加させていただきました。</p> <p>このICT教育の強みというのは、「いつでも、どこでも、誰とでも」瞬時に情報を共有する事ができるということで、私も学ばせていただきたいなと思いました。先生方がおっしゃっていた中で、「子ども達の力をうまく引き出して取組を行っている、それが、自然とSTEAM教育になっている」ということを、聞かせていただきました。</p> <p>また、教育長の最後のごあいさつの中にもありましたけど、普通の講演会と違って、参加者の先生たちもタブレット端末を使って参加できる、双方向の講演会ということで、非常に活気溢れる会を経験させていただきました。</p>

小林教育委員	<p>定められたタイムスケジュールの中ではありましたが、参加者の満足度は非常に高い講演会だったと思います。</p> <p>「形ではなく、熱意なんだ」という言葉も非常に印象に残っていて、やはり神野教育ＣＩＯの、アイデアいっぱいのコーディネート力というものを改めて感じました。</p> <p>一方で、センターの岩崎次長や、堀指導主事の、非常に安定感がある丁寧な説明も、次はどんな話だろうとわくわくしながら聞いていて、あっという間に時間が過ぎました。</p> <p>最後に、教育長が「２０年後の子ども達の姿を想像してみましよう」というお話も、参加者は皆さん、それぞれの子ども達の姿を描きながら、社会との関わりを示しながら展開することの重要性を改めて考えることになったのではないのでしょうか。早速明日から自分のできることは何だろうということを想像し、教員がそれぞれの学校に持ち帰っていけるような意義のある講演会だったと思います。私自身も大変勉強になりました。</p>
片山教育委員	<p>各学校の取組を聞かせていただいて、とても素敵だと思いました。</p> <p>住吉小学校では、お米を売る活動の中で、「なぜ」から始まる学びを、生徒と一緒にされていました。「なぜ」というのは本当に、社会に出てからすごく大事だと思っていて、私も長く医療関係にいましたが、「なぜ」がないと、人は死んでしまいます。「なぜ」を追求していかないと、学びは深まらないので、素晴らしい取組をされていると思いました。</p> <p>私たちが小・中学校の時は、与えられた授業というのが多かったと思いますが、今はそこに、「なぜ」というのが入ってきています。昔のような与えられた環境だけで生きていくのはもはや困難です。これからの時代を生きていくためには、今のＩＣＴ環境での学習が必要で、子ども達にとっても楽しい授業展開になると思います。</p> <p>大宮中学校では、タブレットの使い方のルールを生徒会が主導で作られたということでした。先生や保護者がルールを押し付けたり、駄目だと言ったところで、抑止力というのはなかなか難しいのではと思っていました。そこを生徒自身がルールを作ってうまく運用していることは、すごく効果的だったのだと思います。このようなことを聞くと探究学習というのは、様々なところに繋がってくるのかなと感じ、素晴らしい講演会だったと思いました。</p>
今門代表教育委員	<p>私は、「未来の教室」という言葉の響きが大好きで、どのような話が聞けるのか、とても楽しみにしていました。</p> <p>いただいた資料も、講演会のお話も、現在の状況を知るうえで、非常に参考になりました。</p> <p>それぞれの話を聞いていて、気づいたことを何点かお話させていただきます。</p> <p>まず、１点目は、大宮中学校での実践で、タブレット端末使用に関するルールを作り、全校で唱和するというのがありました。しかも毎週唱和しているということで、主体性がありとてもいい取組だと思いました。今、この教育委員会室の後方にも「宮崎の教育の方針」が掲げてありますが、教育委員に就任したばかりの頃は、いつも一度あれを読んでから、教育委員会定例会に参加していました。ですので、大宮中学校の話聞いて、またできる限り方針を、一度読んでから参加するようにしたいと思います。そのようなことが一</p>

	<p>番根本になり、決めたことを忘れないというのは、非常に大事なかなと思います。</p> <p>2点目は、神野C I Oが話された佐賀県の東明館中学高等学校の探求的構想に取り組んでいるというお話です。いつか、みんなで東明館中学高等学校に視察に行ってみてみたいと思いました。ネットでも調べてみたのですが、普通の学校では出来ないような取組をされてますので、大変面白いと思いました。</p> <p>3点目は、横文字にアレルギーを起こさないという意見があり、最もだなと思いました。最近では聞き慣れない言葉があった時には、調べて身につけていくようにしていけない時代になっていると思いました。</p> <p>最後に、教育長もおっしゃいましたが中学生が音楽発表会で見せた輝き。それを20年後も失わないようにするための教育を考えながら、実践していく。それが、どれだけ大切なのかという話をされましたが、全くそのとおりでと思いました。10年もしないうちに、全職業の半分は自動化され、学びの質を落とすと、大量の失業者が出るという話があります。そのような大変な時代を子ども達が生きていくために、こういった研修会に参加して教員の意識を高め、学びの質を高めていかなければならないと強く感じました。今後、学校訪問した時にも、このような思いを伝えていかなければいけないと思いました。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、「(3) 教育局長報告」ですが、「令和3年第8回宮崎市議会定例会(12月)」の報告がごございます。</p> <p>こちらは、後ほど議事の報告の中でお願いします。</p> <p>続きまして、「(4) 各課行事報告等」は記載のとおりですが、「①学校教育課」行事にごございます、11月22日に開催された「令和3年度第3回宮崎市いじめ防止対策委員会」については、後ほど議事の報告の中でお願いします。</p> <p>また、12月17日に行われた「子ども・子育て環境調査特別委員会」の「各課事情聴取」と、「先進地行政視察」について事務局から報告をお願いします。</p>
牧野学校教育課長	<p>12月17日に行われた、「子ども・子育て環境調査特別委員会各課事情聴取」並びに「先進地行政視察」について報告します。</p> <p>まず、事情聴取については、現在教育委員会が行っているキャリア教育の各取組について説明させていただきました。また、説明後の質疑では、委員の方々から、県及び市のモデル校である田野中学校区の取組についてのご質問や、本年10月から開催している、「みやざき市キャリア教育推進プロジェクト会議」についてのご質問を受けました。</p> <p>続いて、先進地行政視察については、同日午後から都農町を訪問しました。都農町では、今年度からキャリア教育支援センターが設置されており、その中心的な役割である都農町教育委員会教育対策監の中西浩美様、都農未来まちづくり推進機構理事の山内大輔様から、都農町のキャリア教育に係る取組についてご説明いただきました。都農町は、地域との連携が非常に活発であり、地元の企業が学校と地域をつなぎ、キャリア教育が進められています。今回の視察等を踏まえ、今後も本市のキャリア教育の充実を図ってまいりたいと考えています。報告は以上です。</p>

西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>これまでの報告に対する質問や、各行事に参加された委員の方でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等ありましたら、お願いします。</p>
委員	なし。
西田教育長	<p>それでは、他にないようですので、「4 議事」に入らせていただきます。</p> <p>5 ページをご覧ください。本日、議案はございません。報告が3件です。</p> <p>はじめに、報告第44号「令和3年第8回宮崎市議会定例会（12月）の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>それでは、「令和3年第8回宮崎市議会定例会（12月）の報告について」説明します。</p> <p>報告第44号別紙1をご覧ください。</p> <p>12月市議会定例会については、11月29日から12月15日までの日程で開催されました。まず、一般質問についてですが、教育委員会に対し、15名の議員から93の質問をいただきました。いただいた質問については、別紙2のとおりです。主なものとして、「コロナ禍の学校生活について」、「学校給食について」、「学校教育現場について」、「不登校対策について」などの質問がございました。</p> <p>次に、議案の状況についてですが、別紙1の中ほど、提出議案をご覧ください。今回、教育委員会関連議案として、議案第174号「令和3年度宮崎市一般会計補正予算（第12号）案」がございまして、教育委員会関連として、7つの事業で補正予算の要求をしました。</p> <p>まず、学校施設課の「小学校空気調和設備整備事業」及び「中学校空気調和設備整備事業」で、これは音漏れ防止のために窓を閉める機会が多く、優先度の高い音楽教室に空調を整備するため、実施設計委託を行うものです。</p> <p>次に、学校教育課の「小学校教育振興就学援助事業」及び「中学校教育振興就学援助事業」で、経済的理由でお困りの保護者の方に学用品費や修学旅行費等の費用の一部を援助する事業ですが、令和3年度当初予算要求時は、令和元年度の決算を根拠として積算していましたところ、本年度の実績の見込みが立ったことから、必要額を補正するものです。</p> <p>次に、保健給食課の「佐土原学校給食センター排水処理施設整備事業」で、これは佐土原学校給食センターの排水処理施設の一部である回転円板装置が、令和3年1月に故障したため、取替工事を実施するものです。</p> <p>次に、教育情報研修センターの「情報教育アドバイザー業務委託」で、これは、4校に1人ずつ派遣している情報教育アドバイザーを、令和4年度も同じように派遣できるようにするため、債務負担行為額を補正するものです。</p> <p>最後に、保健給食課の「学校給食食材加工等業務委託（3カ年度）（令和3年度）」で、令和4年度調理職員の退職による職員減に伴い、新たに、生目台東小学校の1校を委託する必要が生じたことにより、債務負担行為額を補正するものです。一般会計補正予算案については、原案のとおり可決されています。</p> <p>続きまして、教育委員会関連の提出報告については、「専決処分</p>

	<p>の報告について」3件の報告をしました。こちらのうち、1つは令和3年6月定例会で議決された「宮崎市立住吉中学校屋内運動場大規模改造工事のうち建築主体工事」の契約金額の変更に伴うものです。残りの2つは、小・中学校において、相手方の著作物であるイラストレーションを許諾を得ずに使用したことに伴う、使用料相当額の賠償となります。</p> <p>最後に、議案の可決にあたり、文教民生委員会の委員長報告の中で意見・要望がありましたので、ご報告します。学校施設課の「小学校空気調和設備整備事業」及び「中学校空気調和設備整備事業」につきまして、『これらの事業は、音漏れ防止のために窓を閉める機会が多い音楽教室に空調を整備するため、実施設計業務委託を行おうとするものであります。当局においては、昨年度までに市内全校の普通教室に空調設備を設置する等、その取組は評価するものです。今後も音楽教室以外の特別教室の空調設備の整備及び耐用年数を迎える学校の空調設備の更新が着実に進むよう、財源確保及び計画の策定に努められたい。また、近年課題となっている熱中症対策のため、屋内運動場における空調の整備についても今後研究されたい。』との意見・要望でした。</p> <p>議会の報告から逸れますが、今の教育委員会としては、来年度、音楽教室に空調を整備するという事で、次は、理科室、特別教室が残っています。また、耐用年数を超えている普通教室の空調の更新などがございます。その中で、屋内運動場体育館ですが、ここの空調整備を研究されたいと、というような委員長からの要望がございましたが、現在の状況でいうと、体育館の空調設備は優先順位としては、後ろの方になるのかなというところです。ここ何年かの間に新規事業として打ち出すのはなかなか難しいと考えています。</p> <p>ただ、体育館が避難所になっており、危機管理部の方が、体育館に空調をつけるという動きがあります。それであれば、危機管理部の方が予算を取って、付ける分には教育委員会としても協力しますというスタンスをとっています。ですので、何校かは、体育館に空調がつくことになるかと思いますが、教育委員会のスタンスとしては、それよりもまずは特別教室、そして普通教室の更新を急ぎたいと思います。12月定例会についての報告は以上です。</p>
西田教育長	ありがとうございます。報告第44号の説明に対し、ご質問はございませんか。
今門代表教育委員	特別教室の中で家庭科室がありますよね。あまり使わないかもしれないが、そのような教室も後々空調化されていくのですか。
迫田教育局長	どこまでの特別教室に空調をつけるかは今後考えていかなければなりません。音楽教室の空調の目処が立ったという話の時に、文教民生委員会の方では、理科室はどうするのだという話がありました。全部の教室が空調化されるまでは、こういった話は出るかとは思いますが、どこかで線を引かないといけないと考えています。
西田教育長	他にご質問はありませんか。
委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、次に、報告第45号「令和3年度第3回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について」、報告第46号「事故等の報告について」ですが、こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開とします。
西田教育長	それでは、ここで非公開を解除します。 次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、「令和3年度中学生と教育委員会との意見交換会について」事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	「中学生と教育委員会との意見交換会」について、ご説明します。 お手元の資料をご覧ください。 「教育現場の実情を把握する取組」の一環として、実施されているもので、中学生の素直な意見を聞き、円滑な学校運営や今後の教育施策の参考とさせていただくことを目的としています。 日時については、1月31日の14時30分から16時30分の約2時間で予定しており、場所については、宮崎市教育情報研修センターで開催する予定です。 出席者については、教育長、教育委員の皆様と、毎年、ローテーションで5校の中学校の生徒に参加してもらっています。今年度は、宮崎西中学校、赤江中学校、青島中学校、本郷中学校、田野中学校から2名ずつ、計10名の中学2年生に参加をしてもらう予定です。 本年度のテーマについては、5にありますとおり、「①学校に行きたい、楽しいと思うときについて」「②タブレットを使用した授業や家庭学習について」の2つのテーマで意見交換を行う予定です。 ご多用のところ、大変恐れ入りますが、委員の皆様方のご出席をよろしくお願いします。説明は以上です。
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、その他、各課から報告等ございませんか。
堀之内教育情報研修センター所長	教育情報研修センターからお知らせがあります。 「令和3年度宮崎市教職員教育研究論文等長期及び宮崎市教職員研究論文研究員研究発表会」についてです。出席依頼をさせていただいています、教育委員の皆様をはじめ、各課長に依頼文を出させていただいていますので、ご覧ください。 今年度の研究論文表彰式並びに研究論文発表研究員研究の発表会を2月18日、13時50分から、教育情報研修センターで行います。 今年度は、研究教育研究論文に小学校が86点、中学校が30点の計116点の、応募がありました。宮崎大学教育学部及び大学院長以下、教育学研究科の14名の先生方に審査していただき、小・中学校別に、1席、2席、3席、佳作を選定する予定です。当日は、小・中学校1名ずつの優秀論文の発表を行います。 また、今年度、ICT活用に関する研究として、事業実践活用研究班、そして、情報スキル・モラル研究班の2班を設置し、研究を行って参りました。1年間をとおして行ってきた研究成果の発表も重ねて行います。 お忙しいとは存じますが、時間の許す限りご参加をいただきたい

	と考えています。どうぞよろしく申し上げます。以上です。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	次回の定例教育委員会は、令和4年1月19日、13時40分から中央公民館で開催し、その後は宮崎科学技術館の視察を予定しています。
西田教育長	ただ今説明のありました日時に、開催しますので、よろしく申し上げます。 続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	(行事予定説明)
西田教育長	以上をもちまして、第12回定例会を終了します。